

岡山県立誕生寺支援学校
平成 25 年度

特別支援学校における
自立活動指導力向上事業公開授業

日程

14:00	14:30	14:40	14:50	15:35	15:50	16:00	16:05
受 付	開会行事	本校の 自立活動の 取り組み	実践報告 本児の実態 目標の設定 指導の実際 (授業VTRの視聴) 児童の変容	意見交換	指導助言	閉会 行事	

期 日 平成 25 年 11 月 29 日 (金)

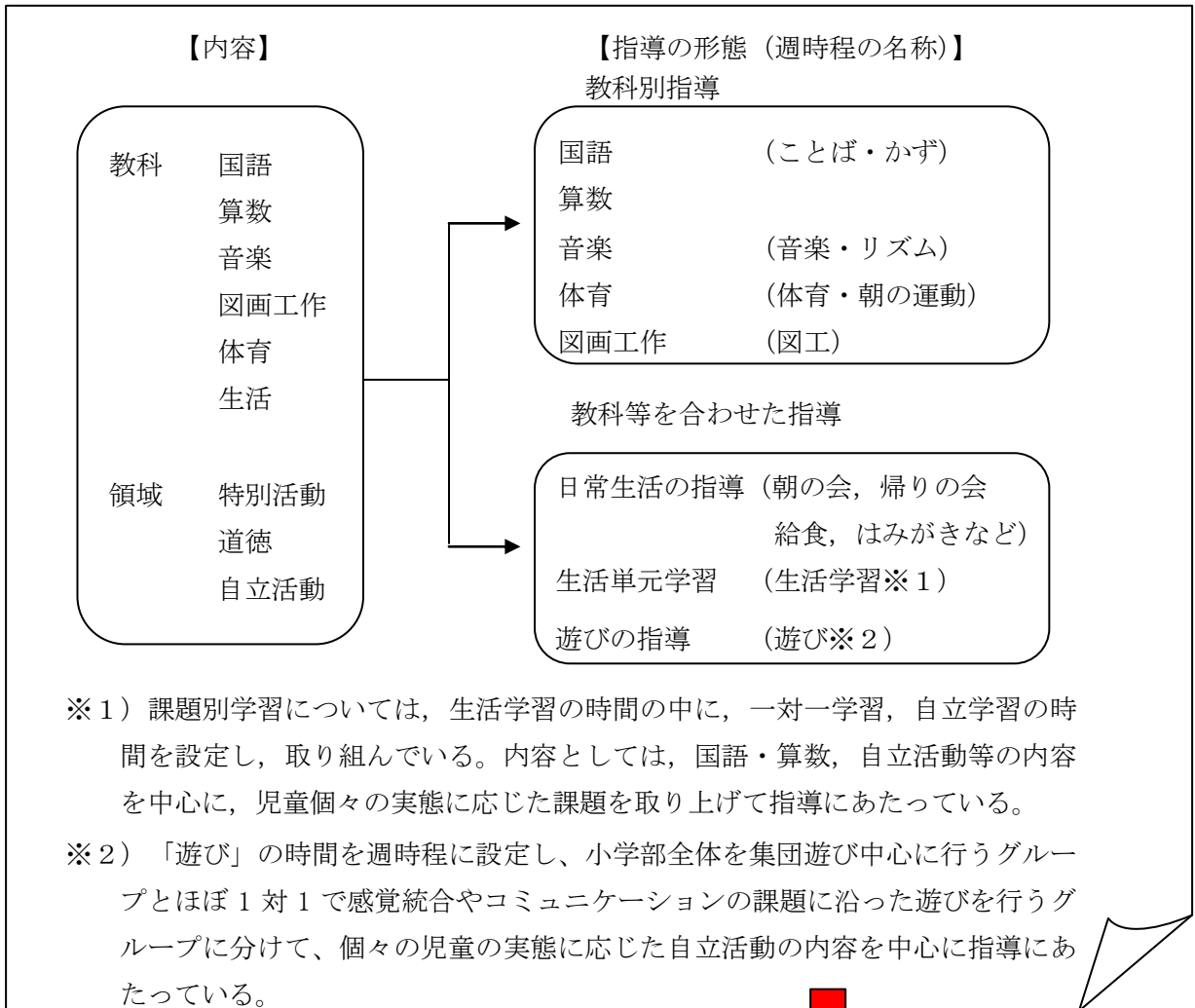
会 場 岡山県立誕生寺支援学校 会議室

※教材を会議室に展示しております

1

誕生寺支援学校 小学部の教育課程

小学部では、学習指導要領に基づき、在籍する児童の実態、地域や学校の実態等を考慮しながら、次のような教育課程を編成している。



小学部の現状

- ・ 障害特性として、自閉症を有する知的障害の児童が大半を占めており、難聴など重複障害を有する児童も在籍している。
- ・ 通学方法についても、自宅からスクールバスや自家用車で通学する児童、知的障害入所施設（津山ひかり学園）から通学する児童、寄宿舎に入舎している児童など様々である。

知的障害部門 小学部
平成25年度日課表(第2学年)

	月	火	水	木	金
9:00	日常生活の指導				
9:20	朝の会				
9:45	さわやかタイム(朝の運動)				
10:00	歩行				
10:30					
10:40	あそび	体育	ことば・かず	生活学習	音楽
11:25	日常生活の指導				
11:35	給食				
11:50	日常生活の指導				
12:30	日常生活の指導				
12:50					
13:10	図工	生活学習	※ 13:20下校	音楽 (リズム)	生活学習
13:55	※				※
14:05	14:10下校	日常生活の指導		日常生活の指導	14:10下校
14:40		※		※	
14:50	※日常生活の指導・帰りの会など 15:00下校				

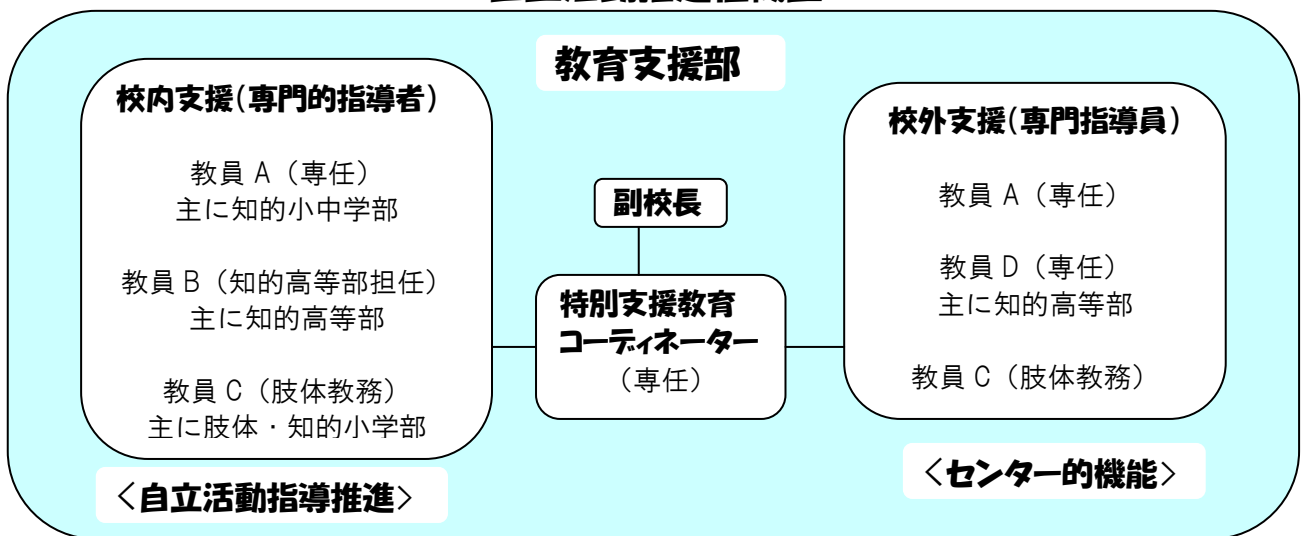
2

誕生寺支援学校 自立活動の指導の校内体制

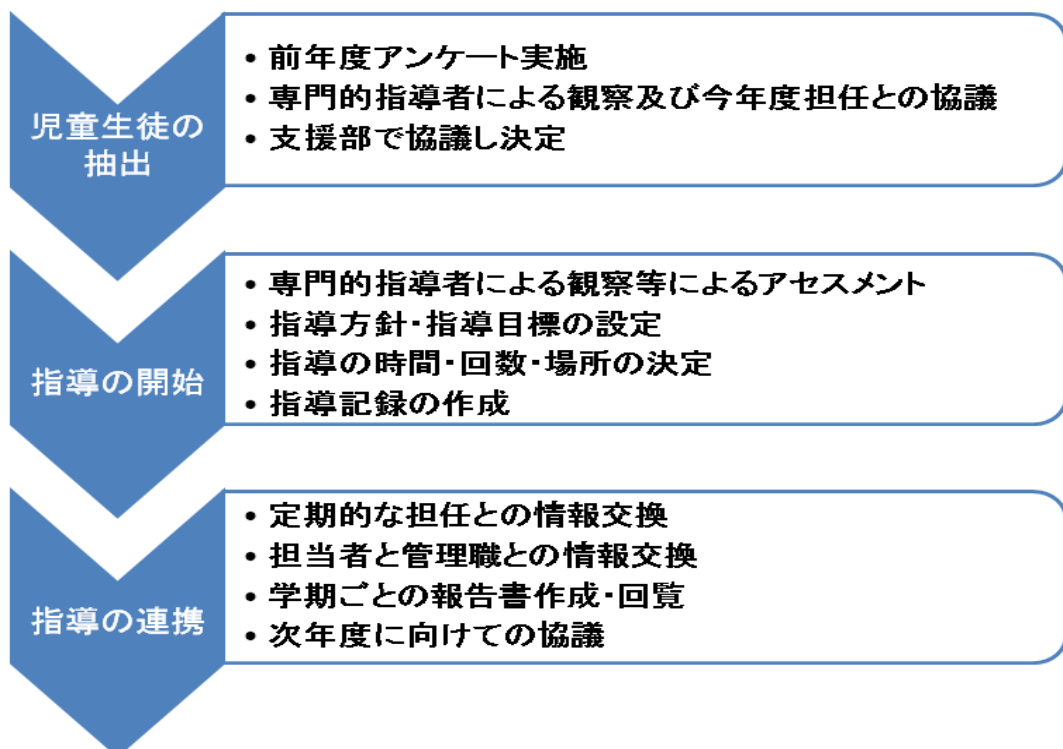
自立活動の指導は、個別の指導計画や教育支援計画における目標に沿って計画的に行っている。指導の形態として、教育活動全体を通して指導する場合と、時間を設けて指導する場合（自立活動の「時間における指導」）の2つがある。

誕生寺支援学校では、自立活動推進組織を運営しており、校内支援を担当する専門的指導者が学級担任と連携を取り合いながら、児童生徒のアセスメントや自立活動の観点を意識した授業作り、時間における指導を行っている。

自立活動推進組織図



時間を設けて指導する場合



3

自立活動の時間における指導の抽出指導の体制について

誕生寺支援学校では、児童生徒の実態や課題状況、自立活動の時間における指導の場面などを考慮しながら、指導者の選定、指導の形態、指導期間を検討し、指導にあたっている。

○指導者の選定

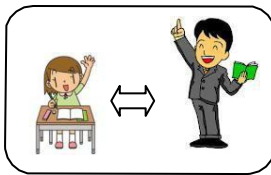
- ・学級担任
- ・専門的指導者

自立活動の指導については、基本的には学級担任が児童生徒の実態や設定目標に応じて計画的に指導を行っている。さらに指導内容などを加味しながら、専門的指導者の活用も行っている。

○指導の形態

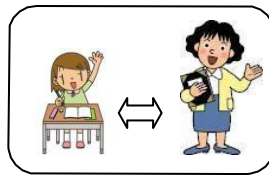
①学級担任が

指導を行う形態



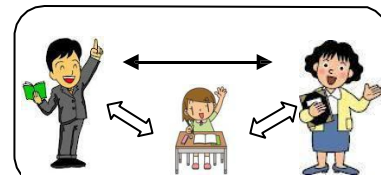
②専門的指導者が

指導を行う形態



③授業に専門的指導者が

サブ指導者として参加する形態



- ・学級担任が指導を行う形態でも、児童生徒の実態や課題に応じて、専門的指導者が授業作りに参加したり、指導場面の参観、意見交換を積極的に行ったりする。
- ・指導対象については、必要に応じて児童生徒を個別のみではなく、小集団やクラス単位を対象として指導を行ったり、学部の授業に専門的指導者が加わりながら、場面指導を行ったりする場合もある。

○指導期間

専門的指導者による指導については、年度当初に対象児童生徒を決定した後、一年間の指導期間を設定して指導を行っている。ただし、児童生徒の課題達成状況を考慮しながら、年度途中で指導者を学級担任と交代して引き継いだり、指導を終了したりしている。

また、年度途中からであっても、課題が浮き彫りになったり気になったりする児童生徒については、適宜相談や意見交換を行ったり、抽出指導を行ったりしている。

4

誕生寺支援学校 本事業への取り組み体制

今回の自立活動指導力向上事業を受け、校内の取り組み体制を特別に組織した。

【対象児童，指導者の選定】

- ・ 自立活動の指導者を養成する観点を踏まえて指導者の選定
- ・ 対象とする児童・生徒の検討
- ・ 指導形態，時間，場所等の検討
- ・ 本事業に関わる教員の体制の検討



【指導実践】4月～11月現在

- ① 指導目標の検討
- ② アセスメント
- ③ 指導目標，自立活動の時間における指導の指導計画の作成
- ④ 指導
※週1回（木），1回45分程度
- ⑤ 学習評価
※毎授業後に，指導の経過や次時の授業検討
学級生活の様子などについて意見交換を行った。



【指導経過のまとめ】

- ～授業公開，実践記録の編集に向けて～
(一部予定)
- ・ 指導経過，評価のまとめ
 - ・ 授業公開（11月）実施
 - ・ 本事業の取り組み報告のまとめ
(DVD作成)
 - ・ 県特別支援教育課へ報告（DVD提出）
 - ・ 保護者へ指導の成果について報告

本事業を校内の取り組みとして

○授業に関わる教員として

- ・ 小学部教頭，教務
- ・ 特別支援教育コーディネーター
- ・ 専門的指導者
- ・ 指導教諭

○指導に役立つ情報収集，研修参加

- ・ 日本感覚統合学会主催
感覚統合療法入門講習会
- ・ 筑波大学附属桐ヶ丘特別支援学校
自立活動実践セミナー
「障害の重い子どもの自立活動
“知覚—運動学習の理論と実際”」
- ・ ピラミッド教育コンサルタントオブ
ジャパン
PECS ベーシックトレーニング

○保護者に指導目標，経過の確認・報告

○指導に役立つ教材教具の開発